

第4次広島県がん対策推進計画の目標に関する進捗状況

【全体目標】

項目	目標
がんで死亡する県民の減少	75歳未満のがんによる年齢調整死亡率(人口10万人対)を「計画終期に 53.6人以下とする」

項目	計画策定時	目標(R11)	令和5年度 報告値	令和6年度 報告値	令和7年度 報告値	令和8年度 報告値	令和9年度 報告値	令和10年度報告値	令和11年度報告値	今後の取組方針(一部対応済み)
75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)	64.3人 ^(R4) 【全国14位】	53.6人	63.6 (目標値) 61.2							引き続き、受動喫煙防止対策などによる「予防」、がんの早期発見・早期治療に繋げる「検診」受診率向上対策の強化、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関との連携による「医療」提供体制の充実に取り組んでいく。

【分野目標及び参考指標】

1 がん予防・がん検診

項目	現状(計画策定時)	目標(R11)	令和5年度 報告値	令和6年度 報告値	令和7年度 報告値	令和8年度 報告値	令和9年度 報告値	令和10年度報告値	令和11年度報告値	今後の取組方針(一部対応済み)	取組の主体
P プロセス指標											
◎喫煙率	成人男性	20.7% (R5年度)	17%以下	20.7%	—					引き続き、世界禁煙デー・禁煙週間を中心に普及啓発を図る。	県 市町 その他医療機関 関係団体等 企業
	成人女性	6.1%	5%以下	6.1%	—						
P プロセス指標											
◎HPVワクチン実施率	2回目の実施率	37.5% ^(R4) 【3回目】	70% 以上 (R10)	41.8% ^(R5) 【2回目】						引き続き、市町や薬局・医療機関等との連携による接種対象者や保護者へ積極的かつ適切な情報提供を行う	県 市町 その他医療機関 関係団体等
P プロセス指標											
◎がん検診受診率	胃	50.4%	60%以上 (R10)	—			—	—	—	・がん対策職域推進アドバイザーによる、協会けんぽ加入事業所を中心とした企業等の個別訪問による受診勧奨により、一定の成果があったため、より効果的な資材の開発等を行いつつ、取組を継続する。 ・がん対策職域推進アドバイザーが訪問する企業の中には、事業主が検診受診を促すものの、従業員に検診の重要性についての意識が根付いておらず、受診が進まない企業があるため、「がん検診サポート薬剤師」を活用した出張啓発及び受診勧奨を実施し、直接従業員に働きかけることでがん検診の重要性を認識させ、受診を促す。 ・職域の被扶養者に対する個別受診勧奨(閣下ハガキ)について参加市町を拡充して実施する。	県 市町 その他医療機関
	肺	47.7%		—			—	—			
	大腸	44.0%		—			—	—			
	子宮	42.5%		—			—	—			
	乳	42.6%		—			—	—			
P プロセス指標											
◎市町検診の精密検査受診率	胃	86.7%	90%以上 (R11)	86.1% (R3 確定値)						・広島県がん検診精度管理評価会議において市町毎の具体的な課題を明確にし、評価結果に基づく指導を継続する。 ・精密検査受診率の向上に向けて、市町担当者向け講習会により好事例を横展開するとともに、有識者による課題解決に向けた技術的助言や指導を行う。 ・精密検査未把握率の改善に向けて、引き続き県医師会等の関係機関と連携し、検診機関への精密検査結果報告の依頼活動を実施するとともに、精密検査未把握率の高い市町へのヒアリング等により課題を把握し個別の支援を行う。	県 市町 その他医療機関 関係団体 企業
	肺	76.2%		73.1% (R3 確定値)							
	大腸	69.7%		67.5% (R3 確定値)							
	子宮	65.6%		69.4% (R3 確定値)							
	乳	87.7%		88.2% (R3 確定値)							

【分野目標及び参考指標】

2 がん医療

項目	現状(計画策定時)	目標(R11)	令和5年度 報告値	令和6年度 報告値	令和7年度 報告値	令和8年度 報告値	令和9年度 報告値	令和10年度報告値	令和11年度報告値	今後の取組方針(一部対応済み)	取組の主体	
S ストラクチャー指標												
◎ 拠点病院等への放射線治療専門医等(常勤・専従)配置(HIPRAC含む)		13/14 拠点病院等 (R5)	全拠点病院	13/14拠点病院等							現況報告等を通じて各施設の状況を確認するとともに、人材育成を促す。	県 拠点病院 関係団体等
◎ 拠点病院へのがん薬物療法専門医等(常勤・専従)配置		全拠点 病院 (R5)	全拠点病院	13/13拠点病院								拠点病院
◎ 拠点病院への病理専門医等(常勤・専従)配置		全拠点 病院 (R5)	全拠点病院	13/13拠点病院								拠点病院
P プロセス指標												
◎ 緩和ケア(PEACE)研修会修了者数	(医師・看護師・薬剤師等)	236人 (R4)	前年より増	305人	279人						◎緩和ケア研修の医師の受講率が90%以上の拠点病院数(R5年度実績6病院)の増加を図るとともに、広島がんネットによる広報や、緩和ケア病棟・緩和ケアチームを有する施設への情報提供等により、診療所の医師や、医師以外の医療従事者の受講を促進する。	
◎ 緩和ケア認定看護師数	(緩和ケア・がん性疼痛看護認定看護師)	94人 (R4)	10人増	92人							◎緩和ケア病棟や緩和ケアチームを有する施設に向けて、経費支援制度の周知を強化する。	
S ストラクチャー指標												
◎ がん患者に対応できる地域包括支援センター数		78/122 (R4) 施設数	全包括支援センター	80/121施設							◎今後も地域包括支援センターを管轄する市町や地対協と連携し、対応可能センター数の増加を図る。	

3 がんとの共生

S プロセス指標												
◎ 「広島がんネット」のアクセス件数		175,488 (R4) 件	現状より増	158,998							タイムリーな情報の発信に継続して取り組むとともに、がん患者・家族等が必要とする情報の把握に努め、内容を充実させる。	県
◎ 「Teamがん対策ひろしま」登録企業数		188 (R5) 社	300社	188社	211社						登録企業の拡大に取り組むとともに、イベントや登録企業の取組について、積極的な広報を行い、県内企業への波及効果を高めていく。	県 企業
S プロセス指標												
◎ 学校保健計画に「がん教育」を位置付けている公立学校数		86.4% (R4)	全公立学校	93.5%							保健主事研修において学校保健計画に「がん教育」を位置付けて実践している好事例の紹介を行う。(第4次計画目標値:全公立学校[R11])	県(教育委員会)